

## Q 義務教育の保護者負担 軽減について

おがわ  
小川 尋海 議員



## A 改めて見直しを指示していく

**問** 隠れ教育費について、実態と負担軽減の取組は。

**答** 保護者が負担する教材等の平均額は小学一年生で3万円弱、中学一年生で8万円強である。

個別に教材を用意してもらう際は、学校で複数の業者を案内したり、家にあるものを活用してもらったりするなど工夫をしている。学習用端末に個別学習ドリルを導入しており、教材購入

の負担削減になっている例もある。改めて校長会で費用負担削減のために見直しを指示していく。

**問** PTAについて、実態と負担軽減の取組は。

**答** 保護者の約20%が役員をしている。多くの保護者に参加してもらうために一度は役員をやるといような暗黙のルールもあるが、強制的なものではないと認識している。活動回数は学

School supplies



## Q 仮称「つるの駅構想」は どうなってる！

はせがわ きよし  
長谷川 清 議員



## A 令和6年度後半から7年度後半に 実施予定

校によって3倍弱の差があるが、事業報告の書き方によるため単純比較は難しい。コロナ禍で委員会の削減や定期総会の書面評決など、活動内容の見直しが行われた。教育委員会はPTAの求めに応じて助言や指導を行っており、引き続き支援をしていく。

◎その他の質問

一 市公式アプリ「つるのポッケ」について

二 喫煙対策について

**問** 鶴ヶ島市の未来をにかけて、市長が市の最重要施策として実施する「つるの駅構想」の進捗状況は。

**答** 本構想は、食をテーマとする企業を誘致して、活気とにぎわい、憩いの拠点を創出することが目的である。

現在、「生鮮食料品マーケット」、「地元野菜の直売所」、「カフェ、レストラン」、「日帰り温泉施設」などが提案されている。現在、事業者が具体的な提案をもって地権者との合意形成に取り組んでいる。工事実施時期は令和6年度後半から7年度後半にかけてとの提案を受けている。

**問** 市街化調整区域における開



(仮称)「つるの駅」構想予定地

発行行為である本事業の法的許可のハードルは極めて高く、本企画が市長の空想、妄想の類に思える。例えば、何の説明もされていないが、日帰り温泉施設はどのように許可されるのか。

**答** この事業を現実的で先駆的な事業と考えている。

日帰り温泉施設の開発は、温泉の湧出後に審査及び許可がされるため、まずは温泉を掘削することが必要である。

仮に今回の提案がうまく進まなくても、問題点などを研究した上で、次のチャレンジをしていく。